

安全で美しい 街路樹をめざして



市には、イチヨウやナンキンハゼ、ケヤキなどの約7600本の街路樹があります。街路樹は街の景観を形成するとともに、交通騒音の低減や大気浄化などの環境保全機能、また防風、延焼防止といった防災機能としての役割を果たしています。

一方、市の街路樹は高度経済成長期に植えられたものが多く、老木化や大径木化が顕著になってきており、交通安全施設などへの支障、倒木・落枝による通行障害、また街の景観低下などさまざまな問題も発生してきています。

このようなことから、市では街路樹の現状について再確認を進めるとともに適切な維持管理に努めています。

街路樹の維持管理方法



伐採・間引き・除草・清掃

交通安全施設などへの支障とならないよう、また維持管理コスト軽減のため生活環境に配慮しつつ伐採や間引きを行っています。さらに、植え込みの草や街路樹の落葉などは、地域の人の協力を得ながら、除草・清掃作業を行っています。



刈り込み・剪定

安全な通行の支障とならないよう、車道と歩道の境界にある植え込みの刈り込みを行い、歩道の確保に努めています。

また、樹木が健全に育つよう、街路樹の^{せんてい}剪定を行っています。



根上がり修繕・病虫害駆除

根の肥大化により損傷したブロックや舗装面などの修繕を行っています。

また害虫により被害を受けた枝葉などの切除を行っています。農薬は特別な事情がある場合を除き使用していません。

今後も安全で美しい街路樹となるよう維持管理を進めていきますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。